

【学生企画】3/27「障害者なんていなくなればいい」のか？—やまゆり園事件をうけて—

差別と隔離

優生思想

みんなちがってみんないい？

障害者の生きる「価値」

学生・VOLAS協働企画
「障害者なんていなくなればいい」のか？
—やまゆり園事件をうけて—

3月27日（月）13：00～ @VOLAS（本学研究講義棟206号室）

第一部 やまゆり園事件を振り返る
第二部 トークセッション

司会進行 山田英輝（国際社会学部 4年）
登壇 安達佳奈（難病者支援・本学卒業生）
西原明子（本学VOLAS職員）

2016年7月26日未明、障害者支援施設やまゆり園で、戦後最大の殺人・傷害事件が起きた。メディアに踊るのは彼の異常性と、「障害者はいなくなればいい」ということばだった。
事件から半年以上がたった今、私たちはどのようにこの言葉と向き合うべきだろうか。障害をもつ当事者、障害者に接する健常者、そしていまだ障害者と関わりを持たない健常者、それぞれの目線から再び考える。

問い合わせ先 東京外国語大学ボランティア活動スペースVOLAS volas @tufs.ac.jp

【日時】3月27日（月）13:00～

【場所】ボランティア活動スペース

第一部 やまゆり園事件をふりかえる

第二部 トークセッション

司会進行

山田英輝（国際社会学部 4年）

登壇

安達佳奈（難病者支援・本学外国語学部卒業生）

西原明子（ボランティア活動スペース）

●2016年7月26日未明、障害者支援施設やまゆり園で、戦後最大の殺人・傷害事件が起きた。メディアに踊るのは彼の異常性と、「障害者はいなくなればいい」ということばだった。

●事件から半年以上がたった今、私たちはどのようにこの言葉と向き合うべきだろうか。障害をもつ当事者、障害者に接する健常者、そしていまだ障害者と関わりを持たない健常者、それぞれの目線から再び考える。

問い合わせ先 ボランティア活動スペース

日時: 2017年02月27日